

鈴木崇 もののをかし

ALL IS NOT AS IT SEEMS

全 て が 見 か け 通 り と は 限 ら な い



①鈴木崇《Dwarsstraat, Venlo》2001年 作家蔵

2026.10.14^水—2027.02.11^{木・祝}

プレス向け解説会のご案内 2026年10月14日（水）14時～

プレス関係者を対象に解説会を実施いたします。作家も参加しての開催となります。
ぜひ、この機会に取材していただき、魅力を発信してくださいようお願い申し上げます。

お問い合わせ先

和歌山県立近代美術館

学芸担当：奥村一郎 広報担当：村井

〒640-8137 和歌山県和歌山市吹上1-4-14

T E L : 073-436-8690

F A X : 073-436-1337

E-MAIL : press@momaw.jp

W E B : <https://www.momaw.jp>



WEB



Facebook



X



Instagram

鈴木崇 もののをかし

写真は世界を切り取り、新たな意味を与えるもの
それを見ることは、日常の「をかし」を見出す行為
かもしれない（鈴木崇）

写真というメディアを介して、視覚と知覚の関係性や認識の変化に注目し、作品を展開する鈴木崇。鈴木眼差しを手がかりに不確かなこの世界のあり方を探ります。

普段の生活のなかで出会う数々のものやイメージ。私たちは視覚を通してさまざまなことを把握しています。しかし、それらは実際どのように理解されているのでしょうか？「All is not as it seems」(すべてが見かけ通りとは限らない)と、鈴木は問いかけます。

本展では、鈴木の新旧作品とともに、作家が選んだ当館コレクションもあわせて展示します。「もののをかし」をテーマに構成した会場では、視覚と知覚をめぐる思索へとみなさんを誘います。

鈴木崇 Takashi Suzuki

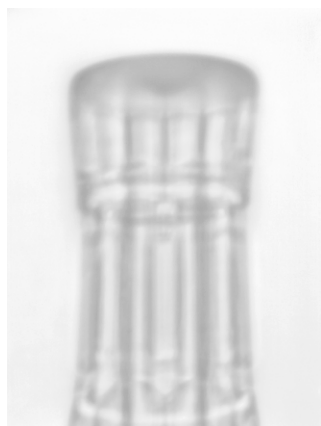
1971 年、京都府出身。現在は京都市を拠点に活動。1996 年、The Art Institute of Boston 写真学科卒業。2001～02 年、デュッセルドルフ芸術アカデミー、トーマス・ルフ クラス研究生、同時期にトーマス・シュトゥルートのアシスタントとしてドイツに滞在。主な展覧会に、「写真の現在 3」（東京国立近代美術館、東京、2006）、「これからの写真」（愛知県美術館、愛知、2014）、「浅間国際フォトフェスティバル Photo MIYOTA」（御代田写真美術館、長野、2019 / 2023）、「東アジア文化都市全州・現代美術交流展」（ハンビョク文化センター、全州、韓国、2023）、「BUTSUDORI」（滋賀県立美術館、滋賀、2025）など。

開催概要

展覧会名	鈴木崇 もののをかし
主催	和歌山県立近代美術館
会場	和歌山県立近代美術館 2 階展示室
会期	2026 年 10 月 14 日（水）～2027 年 2 月 11 日（木・祝）
開館時間	9 時 30 分～17 時（入場は 16 時 30 分まで）
休館日	月曜日（祝休日の 11 月 23 日、2027 年 1 月 11 日は開館）、11 月 24 日（火）、 年末年始（12 月 28 日～1 月 4 日）、2027 年 1 月 12 日（火）
観覧料	一般 600 (480) 円、大学生 330 (290) 円 * () 内は 20 名以上の団体料金 * 高校生以下、65 歳以上の方、障害者手帳をお持ちの方は無料（介護者の方も無料になる場合があります） * 毎月第 1 日曜日は無料。ただし 11 月は「和歌山県ふるさと誕生日」の 11 月 22 日（日）を無料とし、 11 月 1 日（日）は有料 * 11 月 14 日（土）、15 日（日）は「関西文化の日」として無料 * 毎月第 4 土曜日は「紀陽文化財団の日」として大学生無料 * 本展観覧料で、MOMAW コレクション「絵画と彫刻」「版画と美術散歩」も観覧可能

主な出品作品

掲載用画像については広報担当にお問合わせください。
文字のせ、トリミング等はご遠慮ください。



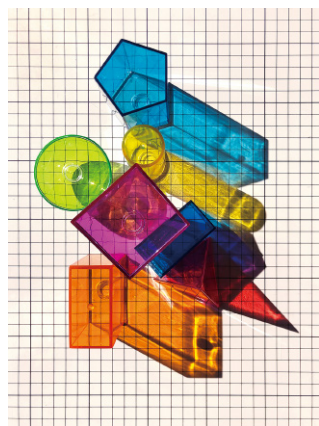
②鈴木崇《ARCA 0117-T》
2008年 作家蔵



③鈴木崇《BAU grayscale #6976》
2014年 作家蔵



④鈴木崇「CTS 禅と幾何学」より
2020年 作家蔵



⑤鈴木崇《lumière géométrique 8212》
2025年 作家蔵



⑥鈴木崇《Fictum cp-0925》2015年 作家蔵



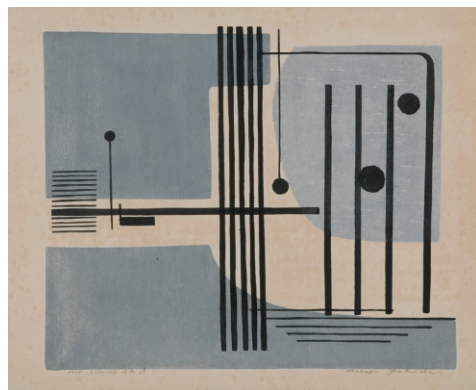
⑦鈴木崇《KAABA》2017年 作家蔵



⑧恩地孝四郎《ボエム No.22 葉っぱと雲》
1953年 和歌山県立近代美術館蔵



⑨林康夫《Focus VI-B》
1984年 和歌山県立近代美術館蔵



⑩吉田政次《静 No.70》
1955年 和歌山県立近代美術館蔵

関連事業

▶作家によるギャラリートーク 10月24日(土) 14時～ 展示室にて *要観覧券

ほかトークイベントやフロアレクチャーなどを予定。(当館ウェブサイト等にて告知)

同時期に開催の展覧会

▶MOMAW コレクション「絵画と彫刻」「版画と美術散歩」

2期：ピカソ《泣く女》と一凹版の小道
9月12日(土)～10月18日(日)

3期：マティス『ジャズ』と一孔版の小道
10月24日(土)～11月29日(日)

4期：カンディンスキー『響き』と一凸版の小道
12月5日(土)～2027年1月11日(月・祝)

▶県立博物館(とまり)の展覧会

企画展 くらひらく—博物館の蔵仕事事例集—
10月10日(土)～12月6日(日)

企画展 海南の古刹 願成寺
12月19日(土)～2027年2月14日(日)